



いいで町

148号

議会だより



雪にも負けず…

12月議会(第10回定例会)

年頭のあいさつ	P2
概 要	P3
補正予算	P4
条例・請願・契約	P5
臨時会・専決	P6
一般質問	P7~9
各常任委員会	P10~11
飯豊町議会 みなさんと語る会	P12~15
一部事務組合・あとがき	P16

新年のごあいさつ



議長 菅野 富士雄

皆様には、健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、慢性的な経済不況の中、誘致第一号企業の撤退の報道、豪雪と猛暑、中津川小中学校の閉校の決定、衆議院選での政権交代など住民生活に大きな影響がある出来事がありました。議会としては、後手にならぬよう各課題解決に取り組みましたが、力の足りない部分もあったと思っております。

町政施行55年の本年は、長年の懸案であった大規模林道飯豊松枝岐線が6月に開通するのはこびです。山の道というだけでなく、置賜と福島会津との各種交流が可能となり、林業復興、更に両地域の経済活動活性化に寄与する道として確信いたしております。

また、政権交代後、政府も経済対策に大規模なテコ入れを行い国内には明るい兆しも見え始めました。本町にあつては、各産業が景気浮揚に貢献できる活動になるよう施策を提言したいと思っております。

さらに、地方自治法が年中会期とできる通年会期の導入、議長に臨時議会の招集権が付与されるなど選択できるものとなり力量が問われる一部改正となったことから、更なる議会改革が必要となります。そんな中、報告会を昨年11月に、「みなさんと語る会」と名称を改め、多くの皆様の参加を頂き開催することができ感謝申し上げます。各地区から、ご意見・ご要望等頂きましたが、町当局と違う立場から議会活動に生かし、課題解決に努めます。この会は、これからも継続してまいります。

結びに、10人が一丸となって負託に答えるべく、職務に精励することをお誓い申し上げますとともに、今後も、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、あいさついたします。

平成24年12月定例会概要

平成24年12月定例会は12月10日から14日までの5日間の会期で開催されました。

一般質問は3議員が行い、承認1件、条例改正3件、24年度各会計補正予算8件、請願2件、その他6件を審査しました。

請願1件を不採択とし、その他は原案のとおり可決しました。

質疑

問 債務負担行為の追加で、福祉事業所管理運営費の25年度26年度で600万円あるがその内容は。

答 福祉事業所は22年度から26年度の指定管理で運営しています。定員20名の施設で採算の取れる利用者数は10名以上ですが、町内利用者4名、町外3名で残念ながら今現在7名の利用者です。

運営に不足金が生じている状況なので年間300万円を2年間補填する内容です。

なお、年間300万円の貸付金は25年度からは行わない方向で調整しています。



きびしい運営の「でんでん」

平成24年度 各会計補正予算

平成24年度飯豊町一般会計は、歳入歳出それぞれ7673万円が追加され、56億5090万円となりました。

◆平成24年度 一般会計補正予算（第9号）

歳入

(単位：万円)

款	補正前の額	補正額	計
地方交付税	28億9053	4323	29億3376
分担金及び負担金	4404	18	4422
使用料及び手数料	8597	△155	8442
国庫支出金	3億268	290	3億558
県支出金	3億9957	4124	4億4081
財産収入	953	13	966
繰入金	3億6866	△9450	2億7416
諸収入	8357	1390	9747
町債	4億4790	7120	5億1910
補正されなかった款の額	9億4172		9億4172
歳入合計	55億7417	7673	56億5090



町民の足の確保のために

歳出

(単位：万円)

款	補正前の額	補正額	計	主な内容
総務費	6億9196	403	6億9599	住宅・出産助成の増、公用車修繕料等
民生費	12億60	13	12億73	老人世帯除雪費支給等
衛生費	3億2481	200	3億2681	健康管理システム改修、手ノ子墓地整備工事等
労働費	7779	597	8376	緊急雇用創出事業等
農林水産費	7億6364	4174	8億538	排水路整備工事等
商工費	1億7741	1415	1億9156	プレミアム付商品券、観光物産館に太陽光パネル設置等
土木費	5億2685	160	5億2845	除雪機械購入費減、道路維持補修の増等
教育費	5億7650	711	5億8361	スクールバス購入、運行委託、中津川小学校体育館耐震診断等
公債費	8億2725	0	8億2725	
補正されなかった款の額	4億736		4億736	
歳出合計	55億7417	7673	56億5090	

◆各特別会計補正予算

(単位：万円)

会計別	補正前の額	補正額	計	主な内容
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	8億3822	305	8億4127	保険給付費の増等
国民健康保険特別会計 (直営施設勘定)	1億3665	84	1億3749	診療所修繕費等
介護保険特別会計	10億1817	△75	10億1742	転倒骨折予防の減額等
介護老人保健施設特別会計	2億9818	64	2億9882	施設内トイレ改修等
物品調達特別会計	1726	12	1738	
農業集落排水特別会計	6億1733	726	6億2459	施設管理修繕費等
中津川財産区特別会計	1239	△65	1174	中津川小中学校閉校記念式補助金、造林事業の減額等
水道事業会計	2億73	265	2億338	放射線検査検体水の運搬費、浄水場の動力費等

◆債務負担行為補正

(単位：万円)

事項	期間	限度額	主な内容
飯豊町福祉事業所管理運営事業	平成25年度～平成26年度	600	でんでんの運営費
緊急雇用創出事業臨時特例基金事業	平成25年度	7174	25年度緊急雇費用費

条例・請願・契約

条例改正

飯豊町議会政務調査費の交付に関する条例

飯豊町介護保険介護給付費準備基金条例

山形県介護保険財政安定化基金事業特例交付金全額を飯豊町介護保険介護給付費準備基金に積み立てるため、本条例の一部を改正するもの。

(平成25年1月1日より施行)

飯豊町立学校設置条例

飯豊町立中津川小学校・飯豊町立中津川中学校の閉校に伴い所要の改正をする必要があるため、本条例の一部を改正するもの。
(平成25年4月1日より施行)

地方自治法の一部を改正する法律の公布に伴い、所要の改正をする必要があるため本条例の一部を改正するもの。

《改正内容》

○飯豊町議会政務調査費の交付に関する条例本則中の「政務調査費」を「政務活動費」に改める。

○第9条・12条中「使用基準」を「政務活動費を充てることができ経費の範囲」に改める。

○第11条中「調査を行うものとする」を「調査を行う等、使途の透明性の確保に努めるものとする」に改める。

請願

少人数学級の推進及び義務教育国庫負担制度の改善について意見書の提出を求める請願

「請願者」

山形県教職員組合置賜地区支部

支部長 小松正義

○少人数学級を推進すること。当面、小学校2学年を35人以下学級とし、早期に全学年に拡大すること。

○教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担金を増額すること。以上を内容とする意見書の提出を求める請願です。

すでに本県では、全

国に先駆けて「教育山形さんさんプラン」が実施されその結果、学力向上・不登校児童の減少・欠席率の低下が見られ、保護者からも好感触で受け入れられている状況などもある。このため慎重に行う必要があるため継続審査としました。

国に対し、消費税増税の実施中止を求める意見書提出についての請願

「請願者」

西置賜革新懇話会
代表世話人 今泉義憲

消費税増税を柱とした「一体改革」関連法の強行成立は、社会保障の解体に道を開くものであり到底認めることができないとし、その実施中止をもとめる

契約

工事請負契約の一部変更

平成24年度添川地区農業集落排水事業処理施設機械電気設備工事の設計の一部変更により4万950円減額し、7398万4050円と契約の一部を変更するものです。

臨時会

第8回臨時会

10月10日第8回臨時会を開催し、特別会計補正予算及び工事請負の一部変更についての2議案を審査し、いずれも全会一致で可決しました。

飯豊町中津川財産区 工事請負契約の特別会計補正予算 一部変更

◆広河原造林作業所屋 根修繕につき歳入歳出各480万円を追加し、設計及び工期の変更により50万4千円を追加し、7085万4千円に変更するものです。

専決処分

平成24年度一般会計補正予算について、衆議院議員選挙費972万4千円を追加し、歳入歳出各55億7416万6千円とする専決処分について承認しました。財源は、地方交付税及び県支出金です。

第9回臨時会

11月7日第9回臨時会を開催し、一般会計補正予算及び工事請負契約の締結についての2議案を審査し、いずれも全会一致で可決しました。

一般会計補正予算 歳入歳出にそれぞれ334万2千円を追加し55億644万2千円としました。

◆添川地区農業集落排水事業中継ポンプ設置工事

《契約の相手方》
株式会社テイデイイー
代表取締役 園部孝男
(山形県酒田市)

《契約金額》
5670万円

《契約の方法》
指名競争入札

《工期》

平成25年3月21日

地域支え合い体制づくり補助金170万円
被災農業者向け経営体
育成支援事業補助金
94万5千円、スキー場
圧雪車修理121万7
千円、ゲレンデ排水対
策緑化工事52万円減額
とし、その財源として
は、国庫補助金及び一
般財源を充てるもので
す。



出番を待つ圧雪車

一般質問

職員の意識改革に向けた取り組みは



鈴木敏夫 議員

- 厳しい財政状況をどう乗り切るか
- 職員の意識改革に向けた取り組みは
- 職員の再任用について
- 保育行政の充実について
- 集落営農について
- 建築・建設工事のチェック体制は

質問 町歳入は減少に転じると予測される。打開策は。

着実な実施で

町長 第四次町行財政改革大綱の着実な実施などにより、財政運営に努めます。

質問 職員の意識改革に向けた取り組みは。

現場主義と外部研修で

町長 町民の声を政策に反映する新たな改革等の環境づくりを指示しています。また、課題解決や政策立案などの基本を順次研修させます。

質問 職員の再任用は。

慎重に期すべき事案

町長 慎重に期すべき事案と考えています。

質問 保育行政の充実対策は。

直営堅持による公設公営の基本姿勢で

町長 正規職員の保育士の採用計画・児童施設のあり方については、適切に対応します。

質問 集落営農の対策は。

関係機関と相談、機能充実で

町長 関係機関と共に相談機能を充実して参ります。

質問 建築・建設工事のチェック体制は。

工事監督員、総括監督員、検査員の体制で

町長 工事等に着手する際、事前に計画書の審査、更に監督員、検査員が評点を行っています。

その他の質問

Q 女性管理職の登用と昇格基準は。

A 慎重に検討します。
Q 正規保育士の採用は。
A 計画的に採用します。



一般質問

主要地方道長井・飯豊線の改修は



長沼安義議員

○文化財の保存管理について

○主要地方道長井・

飯豊線小白川区間

の改修について

○子育て定住支援のための

住宅建築支援の強化について



質問 歴史文化は、町の重要な財産と考えるが特に文化財の保存管理はどうなっているか。

歴史文化は町の財産

教育委員長 歴史文化の重要性は議員の考えに同感です。今に残る文化財こそ、将来の文化の向上発展の基礎をなす貴重な町民の財産であり、その適切な保

存と活用を図ることも、町行政の大切な責務であります。本町には、県指定文化財5件、町指定が30件あり、それぞれ巡回調査を行い、また、町指定については町報「守り続ける人たち」で保存への思いや取組などを紹介しています。しかし、高齢化等により保存管理面で厳しい状況にあることも事

実であり、憂慮すべき

状況であると考えてい

ます。今後の管理・保

存においては、条例規

定による補助に加え、

個人等での管理が困難

な場合には、「新たな

管理団体を立ち上げて

の管理」という選択肢

も検討してゆきたいと

考えています。また、

歴史文化遺産を活かし

た観光振興や地域活性

化への取組みなど、雇

用機会の増大や集客に

結びつけている自治体

の事例を参考に本町の

実情に合った取り組み

を検討していきます。

質問 主要地方道長

井・飯豊線（県道10号

長井飯豊線）小白川区

間は、非常に狭小で危

険である。改修等につ

いて早急に対応すべき

でないか町長2期目に

あたり決意を伺いたい。

町長 当該主要地方道は、本町の大動脈であり道路改良については、兼ねてから町重要事業における最重要路線と位置付け関係機関に強く要望してきました。全国的に登下校中の児童の列に自動車が出っ込み、死傷者が出たことなどを受け緊急合同点検が実施され、小白川地区において三か所が危険箇所として指摘されました。これらの状況を踏まえ、緊急的課題である交通弱者を対象とした交通安全と道路改良により、安全で安心な道路の創造の二本立てで町としても関係機関への要望活動をこれまで以上に推し進めていきますので、議員各位の

関係機関へ以前に増して強力に要望

ご支援をお願い申し上げます。

質問 子育て定住支援のためにも住宅建築支援の強化をはかる必要があるのではないかと

新たな条例設定に向けて検討中

町長

人口減少傾向に歯止めをかけ、賑わいを再現するには住宅団地は有効な手段の一つと考えています。今後中、樺、添川の各地区に計画があり、安価で利便性の高い宅地の提供を目指していきます。一方、住宅取得の支援は、「ふるさと定住いいですな条例」による奨励金等最大120万円の助成がありますが、24年度末をもって失効することから新たな条例の設定に向け検討中であります。

一般質問

どうする 未収金対策



後藤 恵一郎 議員

○公金徴収の一元化について ○飯豊町農業振興地整備計画の見直しについて

質問 自主財源が乏しい本町にとって、町税や税債権以外の未収金が増大することは、財政の硬直化を進行させ行政運営を妨げ町民サービスの低下を招くことになりかねない。

未収金対策は

大きな課題

町長 本町における公

金の収納率向上のための取り組みとしては、口座振替依頼書の送付による口座振替の推進

平成25年度からの全事業所の個人住民税特別徴収に向けた会社訪問また、納税環境の整備として、平成25年4月からコンビニやゆうちょ銀行でも納付できるように現在準備をすすめています。

自主財源が乏しい本町において未収金対策は大変大きな課題とし

て捉えています。

質問 公金徴収の一元化への取り組みは。

徴収事務の

効率化を図る

町長 第4次行財政改革大綱実施計画に基づき公金徴収の一元化を検討しています。

これは、税の滞納者は税外徴収金も未納となることが非常に多く税と税外徴収金の徴収体制を一元化、あるいは公金を一括徴収することで事務の効率化を図ることを目的とするものです。

質問 債権には強制徴収公債権と非強制徴収公債権があるが徴収業務に問題はないのか伺います。

税は徴収吏員のみ徴収

総務企画課長 個人情報を公債権という税を対象としたものについては共有は可能ですが、他の債権間では共有できるかという問題があります。

債権管理条例を制定し対応している自治体もあり調査、検討して取り組めます。

税については徴収吏員でないと徴収できないと思います。

質問 農業振興地整備計画の見直しの状況は。

具体的に動いていない

町長 平成24度を実施する旨で考えていましたが現在、具体的に動いていないのが実態です。

農業の政策上において、基礎調査は必要であると認識していますし、農用地利用計画の変更をどのように考えるかは今後としても、農業振興地整備計画の農用地利用計画を除いた部分の整備計画は検討を進めるべきと考えています。

〈用語の説明〉

○債権とは：債権とは金銭の支払いを目的とする飯豊町の権利をいう。○公債権とは：地方自治法第231条の3第1項に規定される債権。○強制徴収公債権とは：税金の滞納処分等の例により強制的に回収できる債権で、町税、国保税、介護保険料、保育所使用料、農集排使用料等。○非強制徴収公債権とは：上水道使用料、給食費、幼稚園使用料等。

図書室の充実を

総務文教常任委員会

各課からの報告

住民税務課

◆9月から開始した斎場の夜間受付は3件でした。

◆消防出初式は1月6日に開催します。

教育文化課

◆第一小学校の建設検討委員会で米沢市上郷小と東根市の大森小を視察しました。

基本構想の最終とりまとめは2月頃の予定です。

◆1月22日、飯豊中学校を会場に国立天文台の協力で「星と宇宙を身近に感じる特別授業」を予定しています。ハワイの望遠鏡をインターネットで中継して天文学を学ぶ内容です。

質問と答弁

問 第一小学校の建設に当たり、教育委員会、町としての基本構想は無いのか。

答 新しい小学校に対して保護者、地域の方々の思いがあり、イメージについて議論をしています。

概ね6つの視点で学校整備と考えています。

①集って つながって響き合う空間づくり

②落ち着いた学習できるこれからの教育にふさわしい環境づくり

③安全・安心で健康に暮らせる施設づくり

④自然の力を生かすエコスクールづくり

⑤四季を快適に過ごせる居場所づくり

⑥地域の拠点としての学校づくり

問 モンテディオ山形の飯豊町応援日はどのようにしているのか。

また、町民へのおしらせの方法は。

答 県内各市町村で日程を決めて毎年取組んでいます。

本町は大石田町と一緒にです。

町長が出席した場合、はオーロラビジョンに町長のメッセージが流れ、町のPRも兼ねて応援しています。

町民への観戦募集は広報誌やホームページで行っています。

町民への観戦募集は広報誌やホームページで行っています。

町民への観戦募集は広報誌やホームページで行っています。

町民への観戦募集は広報誌やホームページで行っています。

町民への観戦募集は広報誌やホームページで行っています。

町民への観戦募集は広報誌やホームページで行っています。

町民への観戦募集は広報誌やホームページで行っています。

順次整備を進めていきますが、今後については今までの大きさ、色で統一するよう考えます。

また、中学生は11月の文化祭で交流をしました。

問 あーす図書室の利用状況と蔵書の無い本の対応は。

答 利用実績は平成23年度で2万7905冊、貸し出しは1万4302冊でした。在庫の無い本は県立図書館と連携して取り寄せています。

今後は70〜80冊ぐらいは要望に応えながら蔵書数を増やしたいと思っています。

今後は70〜80冊ぐらいは要望に応えながら蔵書数を増やしたいと思っています。

今後は70〜80冊ぐらいは要望に応えながら蔵書数を増やしたいと思っています。

今後は70〜80冊ぐらいは要望に応えながら蔵書数を増やしたいと思っています。

今後は70〜80冊ぐらいは要望に応えながら蔵書数を増やしたいと思っています。

今後は70〜80冊ぐらいは要望に応えながら蔵書数を増やしたいと思っています。

今後は70〜80冊ぐらいは要望に応えながら蔵書数を増やしたいと思っています。

今後は70〜80冊ぐらいは要望に応えながら蔵書数を増やしたいと思っています。

答 新年度1年生が3名いますが、現在幼稚園、小学校の連携で継続中です。

また、中学生は11月の文化祭で交流をしました。

問 中津川小学校の児童、生徒への対応は。

答 利用実績は平成23年度で2万7905冊、貸し出しは1万4302冊でした。在庫の無い本は県立図書館と連携して取り寄せています。

今後は70〜80冊ぐらいは要望に応えながら蔵書数を増やしたいと思っています。

今後は70〜80冊ぐらいは要望に応えながら蔵書数を増やしたいと思っています。

今後は70〜80冊ぐらいは要望に応えながら蔵書数を増やしたいと思っています。

今後は70〜80冊ぐらいは要望に応えながら蔵書数を増やしたいと思っています。

今後は70〜80冊ぐらいは要望に応えながら蔵書数を増やしたいと思っています。

今後は70〜80冊ぐらいは要望に応えながら蔵書数を増やしたいと思っています。

今後は70〜80冊ぐらいは要望に応えながら蔵書数を増やしたいと思っています。

今後は70〜80冊ぐらいは要望に応えながら蔵書数を増やしたいと思っています。



避難所看板

雇用創造事業 望まれる雇用の拡大

産業厚生常任委員会

各課からの報告

産業振興課・農業委員会

◆ 農業者個別所得補償制度による交付金の支払状況。

● 水田活用の所得補償交付金として、総額2億4888万円。

● 米所得補償交付金は、1億5747万円です。

産業政策担当

◆ 12月1日～2日経産者・産業者との合同開催の東京フロンティアに、町は、米・水・どぶろくなどを出店しました。

地域整備課

◆ 消雪関係

松原地区内町道添川線小白川側の消雪は、現在機能していないため、機械除雪で路線を確保しています。

健康福祉課

◆ 今年度の障がい者雇用創造事業は地域でいきいきと活動し、能力に応じて主体的な生活が必要である。添川・椿・萩生で計3名、農業の実習をしています。

◆ 介護老人保健施設
◆ 医師2名体制を、県等へ要望しています。

質問と答弁

問 障害者雇用創造事業の受け入れ体制は。

答 委託料で受託先へ支払っています。

問 雇用創造事業の8名は、どのような仕事をしているのか。

答 人材の育成、こだわりのものづくり産業面・交流推進活性化・100名以上の雇用を生むためがんばっています。

問 2年間で100名の雇用確保は可能か。

この事業終了後も根をつけて進めなければ意味がない。ただ国の制度をしているだけ。研修も誰も来ないと聞く聞いた人はためになら

ないと言っていた。いかなものか。あるか。

答 100名の雇用確保は、ハードルが高い数字とハローワークから聞いている。町の求職者の状況は昨年150名、毎年推移しているとのこと、従来のような企業だけでなく、農業などもあってもいいと思う。そういった中で100名という雇用を達成したい。

講座の参加者についても大変な選定をしている。今は足で参加者を募集している。夜間時間帯の講座も設けました。今年度から初めてスタートラインに立っています。

問 農業フロンティアに参加してみたいの感想は。又町職員も含め研修を受けさせる考えは

答 今の段階で返事はできません。町職員の研修参加についても、他の業務に差し障らない程度にできますが、受入側の協議アイデアがあればです。

問 TPP問題の情報と対応は。

答 具体的な情報はありません。会議はTPP反対に関する研修のみでした。

問 プレミアム商品券の内容と効果は。

答 プレミアム商品券の課題、成果、効果については、前回一度資料を提出していますが、波及効果の発生させる方法を検討しています。



地域雇用創造協議会
就労の相談窓口
100名の雇用を創れる
メンバー(スタッフ)

皆さんと語る会 (報告)

飯豊分校	TPPについて	ドクターヘリについて	人口減少雇用対策	空き家対策について	
黒沢地区 手ノ子地区	中地区 黒沢地区	中地区 小白川地区	中地区 萩生地区 手ノ子地区 中津川地区	中地区 東部地区 高峰地区 小白川地区	地区名
飯豊分校の跡地利用はどうか。現在の状況はどうか。	TPPについて議会の考え、もしTPPに加盟した場合の町の道筋を示してもらいたい。	ドクターヘリの運航について教えてほしい。	飯豊町の人口減少をどう食い止め、新たな雇用をどうするのか、議会として具体的な対策を教えてほしい。	空き家対策について議会としてどのように考えるか。「空き家適正管理に関するモデル条例」を議員発議でつくってはどうか。	意見・要望事項
広く町民の方々の意見を聞き、所有者である県とも協議し、有効活用を提言する。	議会に対して請願書が出されており、TPP反対の意見書を国に提出しています。農業はじめ本町の下請け企業等に負の影響が懸念される。	町内には12か所の着地点が設置され、15分で医療機関への搬送が可能となる。	住宅団地の増設、雇用の創造の提言、子育て医療の中学生までの無料化、企業誘致等雇用を生むための対策を提言している。	県の空き家対策検討会があり、飯豊町も参加している。県で策定した「空き家モデル条例」を検討している。権利関係の問題があるが、積極的に取り組みたい。	議会回答
地域のご意見や関係機関との協議を踏まえ、よりよい活用を図っていく。	環太平洋経済連携協定への交渉参加、締結等についてはマスコミ報道の範囲の内容である。本町においては農業分野への影響が心配され、生産調整の見直し、市場開拓等の対策が必要となる。	11月15日運航が開始される。降雪機の着地点確保が困難だが椿地内に常時着地点を確保する。	仕事の場確保を目的に実践型雇用創造推進事業に取り組んでいる。都市との交流、6次化の推進等、雇用確保を図る。	町内の空き家リストを整備し実態把握に努めている。「空き家等の適正管理に関する条例」制定に向けて検討しています。課題の早期解決対策を検討中。	町からの回答
総務企画課	総務企画課 産業振興課 住民税務課 健康福祉課	健康福祉課	総務企画課	住民税務課 総務企画課	担当課

飯 豊 町 議 会

水道・白川ダム・白川水系	飯豊桧枝岐線開通について	熊対策は	
<p>萩生地区 東部地区 小白川地区</p>	<p>樺地区 高峰地区</p>	<p>樺地区 小白川地区 手ノ子地区</p>	<p>地区名</p>
<p>水道異臭問題や白川ダムの水質問題、また白川水系について、魚から放射能が検出されている。農作物への影響は無い。新しい水源が必要ではないか。</p>	<p>飯豊桧枝岐線開通に伴う、観光面の計画はあるのか。</p>  <p>高峰地区</p>	<p>熊についての対策は、猟友会に補助を出してはどうか。</p>	<p>意見・要望事項</p>
<p>●放射能は10月末の検査結果では問題なし。 ●水道水確保のため水源地を探している。 ●異臭問題については、町と議会でご交省へ陳情に行き、早期調査が実施された。</p>	<p>沿線の地区では、積極的にアイデアを町に提言して頂きたい。通過点にしたくないと思っており、議会もバツアツプする。</p>  <p>樺地区</p>	<p>県で有害駆除数が決められています。今年は278頭駆除し、町内では2頭殺処分しました。猟友会への支援は必要と思う。</p>	<p>議会回答</p>
<p>原発事故直後から週1回水道水の放射能定期検査を継続し実施している。町内の農畜産物等の放射能検査対象物からは検出されていない。白川の魚も安全性が確認されている。</p>	<p>●県の支援を頂いて、誘客プランを作成し、モニター実施を来春行います。観光基本計画を作成中で開通を意識したプラン作成を行う。 ●中津川むらづくり協議会、県、町とで中津川地区活性化協議会を設立し、開通を契機に交流による活性化を目指した取組を進めている。各方面からアイデアや知恵を頂きたい。</p>	<p>里山の利活用事業等により、棲み分けを進めると共に捕獲用檻の増設を行い適地設置により対応する。</p>	<p>町からの回答</p>
<p>地域整備課 産業振興課</p>	<p>産業振興課</p>	<p>産業振興課</p>	<p>担当課</p>

皆さんと語る会 (報告)

消防飯豊分署	誘致第1号企業の撤退について	地方交付税	
<p>黒沢地区 樺地区</p>	<p>高峰地区 萩生地区</p>	<p>高峰地区 小白川地区</p>	<p>地区名</p>
<p>消防飯豊分署の立替 えがあると聞いている が、場所はどこになる のか、議会はどうか考 えているか。</p>	<p> 萩生地区</p> <p>誘致第一号企業の撤 退で、職を失う方の再 雇用問題や、工場跡地 を今後どのように考 えているか。</p>	<p>地方交付税が遅れる と聞いたが大丈夫か。</p>	<p>意見・要望事項</p>
<p>白鷹と飯豊、どちらが先 なるか決定されていないが、 平成27年迄建設の予定。場所 はまだ白紙ですが、住民の安 全安心を確保するために最も 望ましい場所の選定を要望し ていく。</p>	<p>●議会として本社へ撤退の中 止などの陳情要望に行つてき た。 ●町からの情報では、本社と しての再雇用のアフターフォ ローをお願いしている。代表 が来庁し、話し合いをしてい る。 工場跡地は町へ無償で返 すなど、誠意を見せてほしい と申し入れしているとのこと。</p>	<p>遅延が出た場合は、基金の 繰替運用などで対応すると町 から聞いている。</p>	<p>議会回答</p>
<p>①現在の場所に新築は困難。② 防災対策上、庁舎の近くが望まし い。③ただし救急サイレン等から 住民生活に配慮し、密集地を避け たい。①②③の条件に合う場所を 選定していく。</p>	<p>本社へ議会と共に陳情要望活動 をしている。離職された方の再就 職は人材斡旋会社も入り、会社が 責任を持つて再就職の斡旋を行 う方針を示している。また、町・関 係機関も支援を考えている。 工場跡地に関しては、現工場に 下請工場の開設を含め有効活用を 会社側に要請している。その結果 を待ち、町への返還協議を進めて いく予定。</p>	<p>11月交付分の約7億円について は、半月遅れの交付でしたが、手 持ちの資金で対応できた。</p>	<p>町からの回答</p>
<p>住民税務課</p>	<p>産業振興課</p>	<p>総務企画課</p>	<p>担当課</p>

飯 豊 町 議 会

参加人数及び回答者

日 程	開催場所	参加者数 (人)	昨年参加者数 (人)	増 減 (人)	内 訳				回答者数 (人)	回答率 %
					男 性 (人)	昨年男性 (人)	女 性 (人)	昨年女性 (人)		
11月5日	椿 地 区	15	23	△8	14	23	1	0	13	86.7
	小白川地区	18	22	△4	18	22	0	0	16	88.9
11月6日	高 峰 地 区	13	15	△2	13	15	0	0	13	100.0
	手ノ子地区	21	21	0	19	21	2	0	20	95.2
11月7日	東 部 地 区	38	17	21	38	17	0	0	31	81.6
	菽 生 地 区	25	40	△15	23	38	2	2	20	80.0
11月8日	中津川地区	12	18	△6	12	12	0	6	10	83.3
11月9日	中 地 区	19	33	△14	19	28	0	5	15	78.9
11月19日	黒 沢 地 区	22	28	△6	21	26	1	2	17	77.3
	合 計	183	217	△34	177	202	6	15	155	84.7

皆さんと語る会はどうでしたか。

回答項目	回答者数	構成比%	昨年回答者数	構成比%
良 かった	85	54.8	77	47.8
普 通	67	43.2	71	44.1
良くなかった	2	1.3	8	5.0
無 回 答	1	0.6	5	3.1
合 計	155	100.0	161	100.0

時間設定についてはいかがでしたか。

回答項目	回答者数	構成比%	昨年回答者数	構成比%
ふ つ う	128	82.6	136	84.5
長 かった	16	10.3	13	8.1
短 かった	10	6.5	6	3.7
無 回 答	1	0.6	6	3.7
合 計	155	100.0	161	100.0

今後の議会報告会について

回答項目	回答者数	構成比%	昨年回答者数	構成比%
続けて欲しい	119	76.8	125	77.6
どちらでも良い	33	21.3	31	19.3
必要ない	2	1.3	3	1.9
無 回 答	1	0.6	2	1.2
合 計	155	100.0	161	100.0

インターネットの議会中継をご覧になったことがありますか。

回答項目	回答者数	構成比%	昨年回答者数	構成比%
な い	99	63.9	114	70.8
あ る	54	34.8	44	27.3
無 回 答	2	1.3	3	1.9
合 計	155	100.0	161	100.0

飯豊町議会にご意見、ご要望がありましたらご記入ください。

回答項目	回答者数	構成比%	昨年回答者数	構成比%
記 述 有 り	28	18.1	37	23.0
無 回 答	127	81.9	124	77.0
合 計	155	100.0	161	100.0

一部事務組合議会報告



置賜八食祭

置賜広域行政事務組合

平成23年度一般会計の決算は、歳入51億8176万円、歳出49億8387万円、歳入歳出差引額1億9789万円となりました。また、特別会計は歳入1017万円、歳出683万円で歳入歳出差引額は334万円でした。主な事業は、ごみ処理や電算処理などの恒

常的な事業に加え、広域連携推進事業である「婚活」や「置賜八食祭」を実施しました。各市町分担金21億7717万円のうち本町分は、7740万円でした。

決算のほか、条例改正1件、補正予算2件いずれも全会一致で可決・認定しました。

置賜広域病院組合

平成23年度病院事業会計決算と24年度補正予算を審査し、いずれも原案とおりの可決・認定しました。事業会計決算は、病院経営の指標となる医業収支比率90・6%で前年より0.9ポイント改善しました。医業収益は17億6954万円で前年度20%増。入院患者数が21万

834人で20%減りましたが、診療単価増により入院収益は0.9%増。外来患者数は36万4914人で0.5%増、外来収益2.1%増となりました。医業費用は129億9492万円で1.0%増。当年度純損失は5億3731万円となりました。

西置賜行政組合

平成24年10月4日第4回定例会が開催され平成23年度一般会計歳入歳出決算認定及び条例改正2件、一般会計補正予算第2号をいずれも原案とおりの可決しました。23年度一般会計決算額は、歳入14億7978万9千円で、歳出は、14億5896万5千円で、差引額は、

2082万4千円となりました。条例改正は、職員の勤務時間及び休暇等に関する改正、火災予防条例の改正でいずれも国の規則、省令の改正に伴うものです。

あしがき

昨年の国内十大ニュースの中に家電メーカー総崩れ、エルピーダ破産とありました。当町でも最初の誘致企業である(株)LDF山形工場が今年3月末で閉鎖することになりました。大変残念です。一方、昨年末から、円安、株高と経済の好転に期待感が出てきました。

希望にあふれた新しい年にと願っています。

(嶋貫 記)



発行責任者
議長 菅野富士雄
広報委員長 嶋貫 栄助
副委員長 後藤恵一郎

委員
山口 文隆
鈴木 敏夫
船山 清一
長沼 安義